



自治・文化・経済部会資料

施策4-8-2 市民の文化芸術活動の振興

市民文化局  
令和4年6月

資料をご覧ください。上での注意事項

掲載している数値等は、6月2日（令和4年度川崎市政策評価審査委員会第3部会の開催日）時点のものであり、今後、修正・変更になる可能性があります。

# 施策の概要

**基本政策(1層)** 活力と魅力あふれる力強い都市づくり

**政策(2層)** スポーツ・文化芸術を振興する

**施策(3層)** 市民の文化芸術活動の振興

**直接目標** 市内の文化芸術活動を推進し、一層市民に身近なものにする

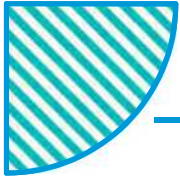
## 主な事務事業

市民文化活動支援事業	橘樹官衙遺跡群保存整備・活用事業
文化財保護・活用事業	藤子・F・不二雄ミュージアム事業
東海道かわさき宿交流館管理運営事業	岡本太郎美術館管理運営事業
市民ミュージアム管理運営事業	日本民家園管理運営事業
大山街道ふるさと館管理運営事業	青少年科学館管理運営事業
市民プラザ管理運営事業	アートセンター管理運営事業

# 実施計画に位置付けた成果指標

概要 背景 取組 成果 まとめ

成果指標①		主要文化施設の入場者数			
算出方法	主要文化施設※(8か所)における入場者数の実績報告の合計値 ※東海道かわさき宿交流館、市民ミュージアム、大山街道ふるさと館、藤子・F・不二雄ミュージアム、岡本太郎美術館、日本民家園、青少年科学館(かわさき宙と緑の科学館)、アートセンター				
指標の考え方	市内の文化芸術活動を推進し、一層市民が文化芸術を身近なものとするため、主要文化施設における文化芸術の創造や地域の文化芸術活動の促進に向けた取組を推進しており、主要文化施設の入場者数の推移を見ることで、その取組の成果を測ることができる。				
指標の目標値	<b>第1期策定時</b> 1,269,188人(H26)	<b>第1期目標</b> 135.6万人以上(H29)	<b>第2期目標</b> 140.5万人以上(R3)	<b>第3期目標</b> 140.5万人以上(R7)	
目標値の考え方	施設ごとに既に設定している目標値や計画策定時における過去の実績値などを踏まえ、目標値を設定する。				



# 実施計画に位置付けた成果指標

成果指標②		年1回以上文化芸術活動をする人の割合			
算出方法	市民アンケート(無作為抽出3,000人)の年1回以上文化芸術活動をする人の割合				
指標の考え方	市内の文化芸術活動を推進し、一層市民が文化芸術を身近なものとするため、市民主体の文化芸術活動を促進していくための環境づくりに取り組んでおり、年1回以上文化芸術活動をする人の割合の推移を見ることで、その取組の成果を測ることができる。				
指標の目標値	第1期策定時 (n=1,235) <b>14.6%</b> (H27)	第1期目標 <b>16%</b> 以上 (H29)	第2期目標 <b>18%</b> 以上 (R3)	第3期目標 <b>20%</b> 以上 (R7)	
目標値の考え方	H27(2015)に実施した市民アンケートに基づき、全国の政令指定都市平均をめざし、目標値を設定する。				





# 市内の文化芸術活動

概要 背景 取組 成果 まとめ

- 市内には、多様な背景をもつ文化芸術資源が豊富に存在し、また、市内の各所では、音楽や演劇、美術、舞踊など、市民主体による多彩な文化芸術活動が盛んに行われています。



川崎大師薪能



川崎・しんゆり芸術祭（アルテリカしんゆり）



青少年による演劇公演プロジェクト「青の素」



Colorsかわさき展



かわさき市民第九コンサート



かわさき市美術展

# 市内の文化芸術関連施設

- 市内には音楽ホールや劇場・美術館・博物館など、市民の文化芸術活動や川崎の魅力発信の拠点となる施設が多数存在し、様々な主体と連携しながら、取組を進めています。



# ダイバーシティとソーシャル・インクルージョンの推進

概要 背景 取組 成果 まとめ

- 文化芸術が「ダイバーシティ(多様性)」と「ソーシャル・インクルージョン(社会的包摂)」の機能、力を持つということが注目されています。
- 文化芸術政策に求められることとして、全ての人々が、容易に、文化芸術活動に触れられる機会を享受できる環境を整えることが取り上げられています。
- 市では、文化芸術を通じたダイバーシティとソーシャル・インクルージョンを推進するため、障害のある方による文化芸術活動を支援するなど、誰もが文化芸術に親しめる環境づくりを推進しています。

## ■ 「社会的な援護を要する人々に対する社会福祉のあり方に関する検討会」報告書

今日的な「つながり」の再構築を図り、全ての人々を孤独や孤立、排除や摩擦から援護し、健康で文化的な生活の実現につなげるよう、社会の構成員として包み支え合う（ソーシャル・インクルージョン）ための社会福祉を模索する必要がある。

(厚生労働省、2000年)

## ■ 「文化芸術推進基本計画」(政府計画)における記述

### <文化芸術による社会包摂の意義>

(※中略) また、文化芸術は、人々が文化芸術の場に参加する機会を通じて、**多様な価値観を尊重し、他者との相互理解が進むという社会包摂の機能**を有している。

こうしたことから、子供から高齢者まで、障害者や在留外国人などが生涯を通じて、居住する地域にかかわらず等しく文化芸術活動に触れられる機会を享受できる環境を整えることが望まれている。同時に、我が国の文化芸術そのものの多様性と豊かさを維持し、継承、発展及び創造するため、各地域の歴史や信仰等に根ざした文化や、特色ある地域文化等、地域の特性に応じた文化芸術振興を図ることが求められている。



# 市民文化活動支援事業1

概要 / 背景 / 取組 / 成果 / まとめ

- 川崎・しんゆり芸術祭(アルテリッカしんゆり)は、川崎市在住の芸術家や市民が中心となり、芸術のまちづくりをさらに進めようと、2009年から始まりました。
- だれもが廉価でオペラから演劇、バレエ、映画、音楽、伝統芸能、落語まで良質で幅広い文化芸術を楽しめるイベントです(4年間の取組の結果については後述)。



(C)公益財団法人日本オペラ振興会



毎年、多くのアートボランティアの参加に支えられています





# 市民文化活動支援事業2

概要 / 背景 / 取組 / 成果 / まとめ

- かわさき市民第九コンサート(4年間の取組の結果については後述)。



- 市民芸術祭(参加者数H30:延5,532人、R1R2:中止、R3:555人)  
※R3は入場チケット枚数で把握



- 薪能(参加者数H30:524人、R1:463人、R2:中止、R3:250人)



- 川崎市文化賞等の贈呈(H30:3個人3団体、R1:6個人、R2:6個人1団体、R3:6個人2団体)
- ラゾーナ川崎プラザソル等の運営支援、川崎能楽堂、新百合21ホール等の設備改修
- 地名講座の実施(参加者数H30:140人、R1:126人、R2:90人、R3:146人)



# 市内の主要文化施設1

概要 / 背景 / 取組 / 成果 / まとめ

## ■ 藤子・F・不二雄ミュージアム

- 本市ゆかりの漫画家、藤子・F・不二雄氏の作品に込められたメッセージを幅広い世代に伝えることで、文化芸術を振興し、本市の魅力を増進するため、「藤子・F・不二雄ミュージアム」を運営しています。

(入場者数 H30:428,655人、R1:363,707人、R2:154,349人、R3:230,591人)

## ■ 10周年記念事業の実施 (R3)



直行バスデザインのリニューアル



ポケットミュージアム

©Fujiko-Pro

## ■ その他の施設

- 東海道かわさき宿交流館(入場者数 H30:49,724人、R1:41,717人、R2:23,277人、R3:30,000人(見込))
- 大山街道ふるさと館(入場者数 H30:65,655人、R1:69,222人、R2:47,632人、R3:58,300人(見込))
- 岡本太郎美術館(入場者数H30:77,962人、R1:69,137人、R2:59,049人、R3:78,000人(見込))

- 日本民家園(入場者数H30:111,841人、R1:96,237人、R2:68,267人、R3:94,000人(見込))
- 青少年科学館(入場者数H30:271,761人、R1:251,346人、R2:178,245人、R3:256,000人(見込))
- アートセンター(入場者数H30:84,468人、R1:80,355人、R2:34,474人、R3:48,158人(見込))



# 市内の主要文化施設2

## ■市民ミュージアム

概要 / 背景 / 取組 / 成果 / まとめ

- 市民ミュージアムは、本市の歴史、民俗、考古、美術文芸、グラフィック、写真、漫画、映画、映像の資料や作品を収集、展示し、市民の観覧、学習・研究を進めるため、博物館と美術館の機能をあわせ持つ複合文化施設です。令和元年東日本台風による被災後は、被災収蔵品の修復や出張形式での展示、教育普及を中心に博物館活動を継続しています。

- 【被災前】魅力的な展覧会を開催

平成30年度は来館者数  
302,999人を達成



令和元年  
東日本台風による  
被災・休館

- 被災収蔵品の修復



修復前



修復後

- 市内他施設での展覧会や出張形式での教育普及の実施



市内小学校へのお出張授業

- 新たな取り組み

被災による休館やコロナ禍に  
対応し、ホームページ上の展示  
空間を新規開設



オンライン展覧会「the 3rd Area of "C" -3つめのミュージアム-」





# パラアート推進事業における川崎市文化財団との連携1

概要 / 背景 / 取組 / 成果 / まとめ

- 市では、川崎市文化財団と連携し、障害の有無にかかわらず誰もが文化芸術活動に親しめる環境づくりを推進しました。

## ■アート展「Colorsかわさき展」

- ・ 未来へつながる才能の育成と発掘を目的に市内の障害者福祉サービス事業所から立ち上がった「studio FLAT」や市内の施設などで活躍するアーティストや、市立特別支援学校の子どもの作品等を展示
- ・ 障害のある人たちが社会で生き生きと暮らしていくことや、特別支援学校卒業後の自信形成をサポートする機会とするため、作品の販売支援につながる情報提供を実施
- ・ 「おうちでColorsかわさき展」  
<https://kbz.or.jp/paraartnet/gallery/>



本展来場者数、H30:1,643人、R1:1,520人、R2:1,158人、R3:1,057人



【R3】市バス車内を使った巡回展、延べ乗車人数約39,000人



パラアート作品



【R3】商業施設での巡回展、観覧者数約3,500人

# パラアート推進事業における川崎市文化財団との連携2

概要 背景 取組 成果 まとめ

## ◎ パラアート推進事業のプラットフォーム：川崎市文化財団

文化財団では、パラアートに関する情報発信やネットワーク構築等、中間支援に取り組んでいます。

### ■ パラアート・ミーティング 〈専門家に学ぶ、つながりをつくる〉



パラアート関係者の交流の場

### ■ 地域連携〈他団体と協働し広める〉 ◎ 市内の団体への広がり



まちかどパラアート展（社会福祉法人ともかわさき）

### ■ かわさきパラアート情報サイト 「ぱらあーとねっと」 〈イベント情報を収集・発信する〉



### ■ パラアート推進公募型事業委託〈モデルとなる事業を育成し発信〉 （採択数H30:4件、R1:5件、R2:5件、R3:5件）



創作人形劇



楽器体験

### ◎ その他の事務事業

- 文化財保護・活用事業  
・文化財ボランティアが参加した事業日数  
（H30:26日、R1:7日、R2:0日、R3:0日）
- 橘樹官衙遺跡群保存整備・活用事業  
・史跡めぐり等活用事業の参加者数（H30:310人、  
R1:1,010人、R2:374人、R3:458人）

# 成果指標①の達成状況(目標未達成)

## 主要文化施設の入場者数

- 主要文化施設(東海道かわさき宿交流館、市民ミュージアム、大山街道ふるさと館、藤子・F・不二雄ミュージアム、岡本太郎美術館、日本民家園、青少年科学館(かわさき宙と緑の科学館)、アートセンター)の入場者数の合計は、令和3年度の実績が79.5万人(見込)となり、目標を61.0万人下回りました。

	第1期 策定時 (H26)	H30	R1	R2	R3
目標		136.8万人	138.0万人	139.2万人	140.5万人
実績	126.9万人	139.3万人	114.9万人	57.1万人	79.5万人 (見込)

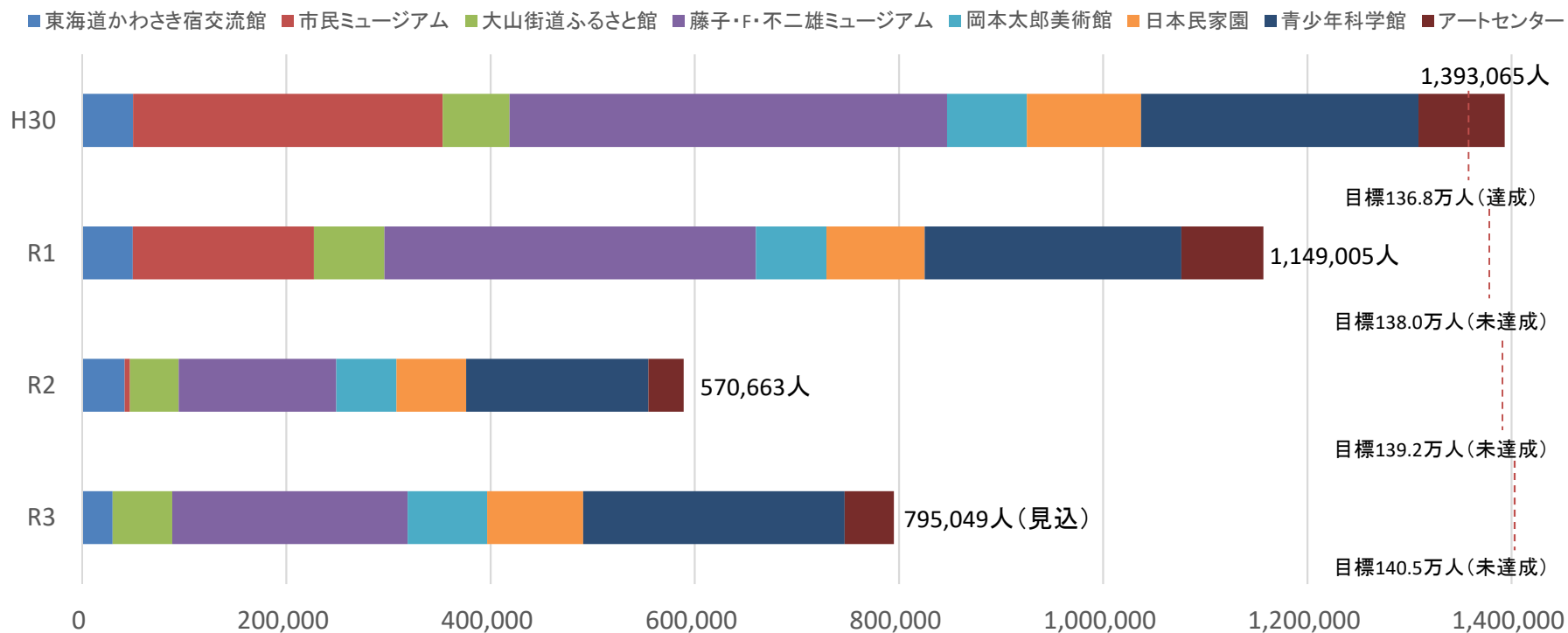


# 成果指標①の成果分析

## 主要文化施設の入場者数

- 令和元年度は台風への対応による臨時休館(園)、また、市民ミュージアムが10月の台風以降休館となったこと、さらに、新型コロナウイルスの感染症対策による施設の臨時休館や各種イベント等の中止・延期などの影響により、目標値に達することができませんでした。

### 主要文化施設の入場者数(人)



# 成果指標②の達成状況(目標未達成)

## 年1回以上文化芸術活動をする人の割合

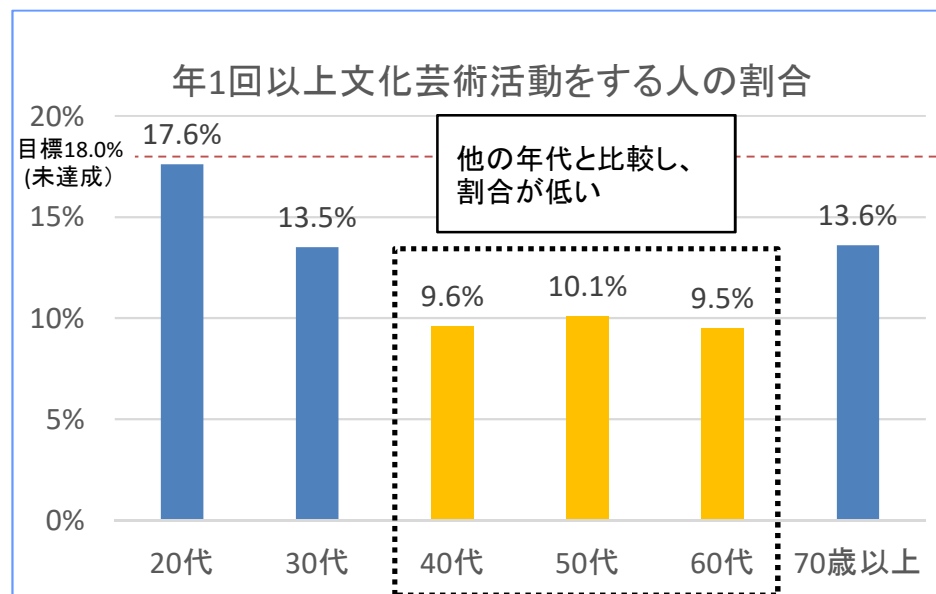
- 年1回以上文化芸術活動をする人の割合については、令和3年度は12.1%となり、目標を5.9ポイント下回りました。※鑑賞は除いて、自分で創作・実践、また文化芸術体験を支援する文化ボランティアの活動への参加などの割合となります。

	第1期 策定時 (H27)	H30	R1	R2	R3
目標			17.0%		18.0%
実績	14.6% (n=1,235)		13.4% (n=1,528)		12.1% (n=1,494)

# 成果指標②の成果分析

## 年1回以上文化芸術活動をする人の割合

- 年1回以上文化芸術活動をする人の割合について、令和元年度は、13.4%と目標値を下回り、令和3年度は、12.1%と令和元年度よりも減少し、目標値に達することができませんでした。
- 令和3年度の市民アンケートの結果を見ると、年齢別の比較において、20代が17.6%、30代が13.5%、40代が9.6%、50代が10.1%、60代が9.5%、70歳以上が13.6%と40代から60代までが比較的低くなっており、自由意見の内容から「時間がない」、「興味がない」、「鑑賞で十分」、「情報がない」、「コロナ禍のため」といった理由が推察されます。新型コロナウイルス感染症の収束による活動増を見据え、これまでの取組に加え、SNSの活用など、これらの年代の方にも情報が届く効果的な広報に取り組む必要があります。



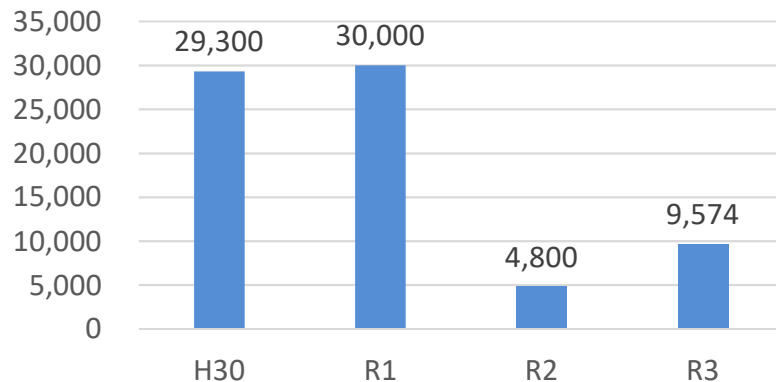


# その他成果(数値で把握できる補足指標)

## 川崎・しんゆり芸術祭(アルテリッカしんゆり)の参加者数

- 「川崎・しんゆり芸術祭(アルテリッカしんゆり)」は、2万人を超える方々が来場・鑑賞される、オペラから演劇、バレエ、映画、音楽、伝統芸能、落語まで、良質で幅広い芸術に触れ合うイベントとなりました。
- 令和2年度、3年度のコロナ禍においては、政府・市の方針や業種別ガイドラインに基づき芸術祭の企画を行い、規模を縮小しましたが、地域の方々や産官一体となった支援により開催が継続できました。
- ボランティアの参加は、現在、180人を超えており、開催準備の他、会場案内、受付、モギリ、場内案内、チラシのポスティングなどの計画・実施、ホームページの制作・管理・運営などを行い、イベントを支え盛り上げる重要な役割を担っています。

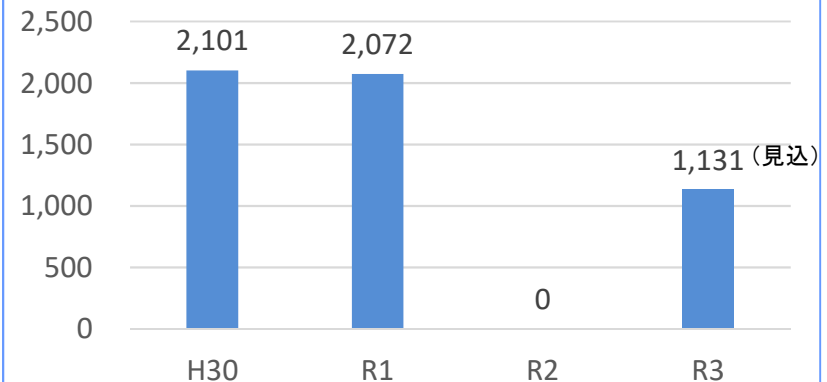
川崎・しんゆり芸術祭への参加者数の総計(人)



## かわさき市民第九コンサートの参加者数

- 「かわさき市民第九コンサート」は、市民公募により結成された合唱団と市民オーケストラが合同で練習を重ね、ミュージア川崎シンフォニーホールで開催されました。
- 市民合唱団とコンサート入場者数の合計は2,000人を超えるほどになりましたが、コロナ禍により令和2年度は中止となりました。令和3年度は、新型コロナウイルス感染防止を踏まえた募集、練習を行い実施することができました。
- 新型コロナウイルス感染防止策として、消毒、検温、換気、合唱団員の人数制限、客席の利用制限、実行委員会のオンライン会議による開催等を実施しました。

市民合唱団とコンサート入場者数の合計(人)



# その他成果(定性的な成果)

概要 背景 取組 成果 まとめ

## 新型コロナウイルス感染症拡大への対応

- 新型コロナウイルス感染症拡大を受けて、施設の休館や入場者数の制限が行われ、また、多くの文化芸術イベントが中止や一部中止、縮小となりましたが、コロナ禍での感染症拡大防止対策を講じて可能な限り施設を開館・運営するとともに、市内の文化芸術の担い手や、文化芸術活動への支援、オンラインなどの開催方法を取り入れたイベント等の実施により、誰もが文化芸術活動に参加しやすい環境づくりを進めました。

### 市内の文化芸術の担い手への支援 (R2)



令和2年度に文化芸術活動の担い手に対し、文化芸術作品等の新規制作動画を募集しました。247件588人に対し、奨励金を1人あたり5万円交付しました。

応募された動画は川崎市文化芸術応援チャンネルで公開し、コロナ禍において市民が文化芸術に触れる機会を提供しました。

### 文化芸術活動への支援 (R3)

令和3年度に文化芸術公演等の主催者に対し、会場使用料等の助成を行いました。

128件20,123,000円(見込)が交付されました。

### オンライン配信

文化芸術活動のさまざまなジャンルでオンライン配信が実施されました。

- ・アートセンターしんゆりシアターライブ配信: 視聴者数233人 (R2)
- ・橘樹学連続講座「古代橘樹を知り、活用する!!」オンライン受講129人、会場受講38人 (R2)
- ・市民プラザ第31回高津区民音楽祭: 視聴者数4,687人 (R3)
- ・おうちでColorsかわさき展(写真): 視聴者数593人 (R3)

など



# 施策の達成状況

## 施策の達成状況 C 進捗が遅れた(1期策定時を下回るものが多くあった)

### 理由

- ① 成果指標である「主要文化施設の入場者数」の目標値に対する達成率は、台風被害や新型コロナウイルス感染症の拡大等の影響により56.6%(見込)となりましたが、各施設では企画展やイベントなどを実施し、また、オンライン配信の実施により、誰もが文化芸術に親しめる環境づくりの推進に一定の成果がありました。
- ② 成果指標である「年1回以上文化芸術活動をする人の割合」は、目標値に対する達成率は67.2%であり、目標値を下回りました。新型コロナウイルス感染症拡大によるイベント中止等の影響が考えられますが、鑑賞活動以外の文化芸術活動やボランティア活動を活発化するため、活動参加を促す情報発信等をさらに進めていく必要があります。
- ③ 配下の事務事業のうち、「市民ミュージアム管理運営事業」等文化施設の管理運営に係る事務事業の多くで、相次ぐ台風の襲来やその後の台風被害による施設の休館、新型コロナウイルス感染症対策による施設の臨時休館やイベントの中止・延期の影響などにより、目標を達成することができませんでした。また、「文化財保護・活用事業」についても新型コロナウイルス感染症の影響を受け、ボランティアの活動を実施することができませんでした。
- ④ コロナ禍においても、オンライン配信による文化芸術の鑑賞機会の創出など、新たな取組もありましたが、成果指標はいずれも目標値を達成することができなかつたことから、進捗は遅れていると判断しました。

#### 【施策の達成状況区分】

- A 順調に推移した(目標を達成した)、B 一定の進捗があった(目標未達成のものがあるが一定の進捗があった)  
C 進捗が遅れた(1期策定時を下回るものが多くあった)、D 進捗は大幅に遅れた(1期策定時を大幅に下回った)



# 施策の今後の方向性

## 今後の方向性

### Ⅱ 概ね効果的な構成である(一部見直し等の余地がある)

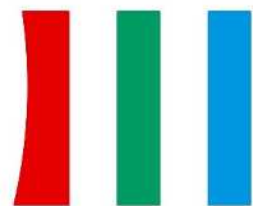
#### 理由

- ① 文化施設の管理運営に係る事務事業については、「主要文化施設の入場者数」は目標値に届かなかったものの、各施設では企画展やイベントなどの実施、コロナ禍におけるオンライン配信の実施等により、誰もが文化芸術に親しめる環境づくりの推進に一定の成果があり、現在取り組んでいる事業を継続して進めていきます。
- ② 市民文化活動支援事業について、「年1回以上文化芸術活動をする人の割合」は、目標値に届いていないことから、鑑賞活動以外の文化芸術活動やボランティア活動を活発化するため、SNSの活用など、活動参加を促す情報発信をさらに進める等、あらゆる機会を活用し、40代～60代の方にも幅広く興味を持ってもらえるような取組について検討していきます。
- ③ 文化芸術を通じたダイバーシティとソーシャル・インクルージョンを推進するため、障害の有無等に関わらず、市内の誰もが文化芸術に触れ、参加できる「アート・フォー・オール」の環境づくりを進めていきます。また、公共施設等を活用した多様な文化芸術活動を推進します。
- ④ 市民ミュージアムについては引き続き、被災収蔵品の修復等作業を実施するとともに、市内他施設やオンラインを活用した事業を積極的に実施していきます。また、新たな博物館、美術館の整備に向け、事業展開の方向性や開設地等の検討を進めていきます。

#### 【今後の方向性区分】

I 効果的な事業構成である(現状のまま継続する)、Ⅱ 概ね効果的な構成である(一部見直し等の余地がある)

Ⅲ あまり効果的な事業構成でない(見直し等の余地が大きい)、Ⅳ 事業構成に問題がある(抜本的な見直し等が必要である)



Colors, Future!

いろいろって、未来。

川崎市